



校長室だより

黒部市立村椿小学校

令和8年10月22日

文責：校長 齊木 裕

地域の伝統を受け継ぐ子供たち ～荒俣獅子舞より～

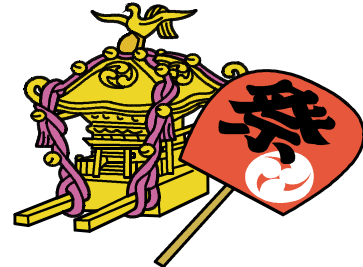
10月19日（月）に「荒俣白鳥神社秋の祭礼」がありました。夜の6時30分に宮入りをするというこ
とで見に行ってきました。荒俣の獅子舞は、入善町の新
屋から黒部市大布施の沓掛に伝承され、約130年前
に荒俣に伝わったとお聞きしました。荒俣白鳥神社秋
祭りの宵祭りとして、秋の実りを祝い悪霊を除凶し家
庭の繁栄と地区の発展を祈って、荒俣大開地区を神輿
が廻ります。子供たちは神輿の入る前の露払いとして、
宮入り踊りをしていました。2週間以上の練習の成果により、全員が堂々と踊っており、
頼もしく感じました。



子供たちは、荒俣の獅子舞の伝統行事に参加することにより、地域から以下のことを学
んでいると実感しました。

伝統行事に参加することで学んだこと

- 1 地域の伝統行事を大切にすること
- 2 ふるさと・地域愛
- 3 礼儀作法
- 4 いろいろな年代の人とのコミュニケーション



本校では、3年生の総合的な学習の時間に「村椿のすてき発見」という学習をしていま
す。先日、荒俣獅子舞保存会の事務局の西島和彦さんをゲストティチャーとしてお招き
し、子供たちは「荒俣の獅子舞」について学びました。「荒俣獅子舞の由来」「獅子舞を
踊る理由」「踊りの種類」「今後の課題」について丁寧に教えていただきました。最後に
踊りに使う傘や刀、天狗のお面等を見せてもらい、子供たちの興味関心が高まっていまし



た。荒俣地区以外の子供も「ぼくも踊ってみたい」「こ
のお祭りを見に行きたい」と口々に話していました。

本校の学校教育目標は、「**地域に学び**、個性豊かに
たくましく、自ら学び行動する子供を育てる」
です。教育活動にたくさんの地域の方に入ってい
だいています。これからも地域の方からたくさん
のことを学び、子供たちが心豊かに成長してくれ
ることを願っています。